

「5G」や「データ量急増」で注目！通信業界

業績堅調のNTTは、7年連続の増配を検討

データ通信

5G



「増配」と聞いて、どのような印象を受けますか？そもそも配当とは、株式を発行した企業が利益を株主に分配したものです。だから一般的に、配当を継続的に出せる企業は、財務状況が健全といわれます。配当の額を増やす増配は当然、業績がある程度好調でないといけないことでもあります。

NTT(日本電信電話)は、2018年3月期に増配し**7年連続で増配**する予定を発表しています。同時に発表された堅調な決算内容や株主還元強化などが背景ですが、好決算を支えた要因のひとつは、傘下の業績好調なNTTドコモ。「**データ通信サービス**」収入の**増大**などが寄与しました。また今後の方針として、「**5G**」サービスの強化を掲げています。

世界の携帯データ通信量、急増中

+70%



スウェーデンの通信機器メーカー、エリクソンのデータによると、2017年1～3月の世界の携帯データ通信量は、**前年同期比で70%増加**しています。2012年を起点にすると動画や音楽配信の増加に伴い、9倍以上増加しており、近年、飛躍的な増加傾向が続いています。音声通話が同期間でほぼ横ばいであるのとは、対照的です。

また、同社によると世界のスマートフォン向けデータは、**2020年まで年率55%で増加**するという見込み。NTTドコモの決算が示したように、すでに「**データ通信量の拡大**」が**通信企業の成長ドライバー**のひとつであり、今後もその傾向が続くことが期待できそうです。

5G普及、日本では2020年サービス開始か

100倍



データ通信量の増加に関しては、今後、**第4世代通信「4G」の100倍の速度を持つ第5世代通信「5G」の導入**が**追い風**になると考えられます。

5Gとは5th Generationの略語で、日本では「**第5世代移動通信システム**」と呼ばれる国際的な通信規格です。各通信企業が普及に力を入れているだけでなく、日本の総務省も東京五輪がある**2020年までに、日本国内でのサービス開始を目指す**と発表しています。

また今後、大容量データを必要とするコンテンツの増加、ホーム・オートメーション、監視・セキュリティ機器、コンピューター接続車、ヘルスケア製品、ウェアラブル端末等、**従来以上に広い分野**での利用が進むことも期待できます。

▶ **飛躍的な成長と技術革新の波の訪れが期待できる通信業界への投資に注目してはいかがでしょうか。**

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。